

令和7年度まちづくり懇談会内容

日時：令和7年12月8日（月） 13：30～

場所：町民センター

出席者：14人

- 1.開会
- 2.町長説明
- 3.懇談
- 4.閉会

【懇談・そのほか質疑など】

■水資源の訴訟	
町民	<p>水資源の訴訟について、情報が入ってこなかった。8月にアンケートがきて初めて知った。水源地が買われたら大変だと思い、内容がよく分からないが署名しようと思った。アンケート結果を見たら、町民は55%くらいしか署名していない。なぜ、町民にあらかじめ説明しなかったのか。議会に対しても正式でなくとも説明すべきではないか。時系列で言うと、去年の11月に議員に対して訴訟の話が出た。その時は岩内地方裁判所訴訟されていると話していた。そこで町も負けるとは思っていなかったが、実際は負けた。不正があったということの証明は、訴えたほうではなく、訴えられたほうが証明しなければならないという、過去の最高裁の判例がある。その根拠についてはおかしいと思っている。和解金に関する報道は、署名の後に出てきた。その意味では、町民のみなさんにお知らせして、こんなことが起こっていて大変だ、署名するかどうするか、そういった相談を町民にすべきだと、議会でも質問した。8月にいきなり署名の要請が来たら、なんのことも疑問に思うわけで、そのやり方を間違っただけというように思っている。この時点であっても、明らかになっていることは町民にお知らせしてほしい。</p> <p>個人的な意見としては、裁判官はおかしい。高等裁判所で和解を進めている裁判所もおかしい。もし負けたら、最高裁に訴えるべきだ。全国におかしいことを堂々と言って、最高裁で争うべきだ。和解に応じるべきではない。</p>
副町長	<p>情報開示が遅いというご意見は頂いた。正直、ニセコ町のものではない、と言われ、最初は何を言っているか分からない話から始まり、裁判が開かれた。裁判が進む中で、登記よりも、勝手に売られたと訴えた側の話の方が信ぴょうが高いということで一審は負けた。誤解されている点は、水源ではなく、道路を挟んでこちら側の登記上では買っている土地が、争点の土地ということだ。</p>
町長	<p>大規模なホテルを建てるなどといった考えられるリスクは、町が制限できる。条例ではかなり厳しい土地になっている。係争中のため、なかなかお伝えでき</p>

	ていなかった。情報発信については、本件に限らず見直しをかけていきたい。
--	-------------------------------------

■高規格道路	
町民	前町長の話では、中心線は別のところになるから大丈夫だというような説明があったが、小樽開建からは「ここで決まった、動かない」と言われショックを受けている。今後交渉の余地があるのか、国の事業であるから町のあずかり知れないところで決まっていくという話なのか、状況について詳しく知りたい。現在の道の駅は、基本設計によるとインターチェンジが被らないという前提だった。老朽化しているが、この計画に関わらず、どういった方針ですすめていくか、決まっているのか。
町長	就任以降、小樽開建から事業の位置づけや今後の説明などを受けた。今見通しで示されているものについて、町から要望や、町民の意見をうけて、事態が変わるものではない、変えることはできないといった趣旨の説明を受けている。今年、バンド幅の測量や調査をしていて、その調査を受けて今後設計をしていくため、その設計のなかで盛土にしようと思っているところは、調査測量の結果橋をかけないといけないとか、高さを配慮する可能性はあるということだった。ルートや高速道路の場所が大幅に変わるということはないということについては、元町での勉強会の中で話をした。前町長が要望し働きかけをしていたことについて、詳細は認識していないものの、国の事業なので、ルートが今後変わることはないということをはっきり説明を受けている。ルートについて、道の駅の場所自体が変わらない前提で、道路は検討されていて、今後道の駅付近に出来るインターチェンジのバンド幅の説明がある。既存道路との合流になるのか、現時点で、見通しの詳細の検討に入れていない。道の駅の老朽化については承知している。改修時期について、高速道路開通前か、開通後か、場所をどうするかなど、関係各所と協議、検討を進めていかなければいけないが、具体的にどのような方式で進めるか結論に至っていない実情だ。

■高校寮	
町民	4月に娘がニセコ高校に入学し、移住してきた。生き生きした町だと感じた。新しい寮が7万円と聞いた。娘も寮に入れるか、考えていた時期もある。3万円だから入れられたが、7万円になったら続けられないという声も聞く。どう対応していくのか。
教育長	現在の定時制の生徒は、寮を作るという話は聞いていても、価格が7万円になるという具体的な金額を聞いていなかった生徒がいる。それに関しては3万5千円くらいで入れるよう考えている。ただし、古い寮もあるため、新寮とどちらに入れるか分からない。寮生の保護者にはそのような回答を文章でお配

	<p>りしている。今後入学する人たちには、具体的な価格を事前にお伝えする。建設コストの問題もあるので、価格を承諾したうえで願書を出願してもらいたい。全国には1万5千円など安いところもあるが、新寮は、高気密なので夏もクーラーが効いて、冬も断熱効果がある。快適な生活ができるのではないかと考えている。</p>
--	--

<p>■ニセコ高校</p>	
町民	<p>高校が総合学科の全日制に変わって、国際教育や起業家教育をするということだが、教科書はどうするのか。先生もそれなりに勉強してきた人が来るのか。緑地観光課になった時に、教科書がなかった。70人になれば、先生も増えるが住宅はどうするのか。学校にはたいていグラウンドがあるが、グラウンドはなくていいのか。</p>
教育長	<p>総合学科は基本的に普通科の科目を学ぶので、そういった教科書を用意する。学校設定教科科目は、実際教えていく中で検討していく。1年生の基礎科目は普通の学校と一緒だ。今後、道教委とも検討していく。グラウンドについては、人数が増えると手狭になるので、運動公園や中学校の体育と調整し、共用でグラウンドを使用する。部活動は人数も増えて、かなり成績が上がっていて楽しみだ。スキージュニア大会で優勝している生徒がいるなど、頑張っている生徒もいる。幅広く地域に混ぜていってほしいと考えている。教員住宅については、希望が丘寮の活用含め、検討していく。</p>

<p>■グラウンド</p>	
町民	<p>マラソン大会の駐車場に町民グラウンドを使用できなくなって不便だと聞いた。グラウンドがなくなったことによる影響は考えているか。</p>
副町長	<p>今後同じように大会を実施する為には、駐車場の確保は厳しい。町民センターは50台くらい駐車台数が増え、少し余裕はあったものの、規模を抑えて開催することも検討している。スキー場の駐車場を使用し、バスでピストンという方法もあるが、バス代も値上がりしている。</p>

<p>■ニセコ駅周辺</p>	
町民	<p>新幹線開通後、ニセコ駅が廃止したあと、中央エリアがどうなるか興味がある。どのような駅の活用方法を考えているか。駅前がきれいなので、安全に子どもが使える広場があるといい。隣には素敵な温泉もある。観光客や町民にとって安全かどうか。効率的、安全な交通手段（路面電車）があるといい。</p>
町長	<p>現時点で具体化はしていない。路線としては廃止が決定している。そのあと</p>

	に、あの場所を維持するのか、観光振興として使うのか、町のシンボルとして駅舎だけでも残すのか、周辺を含めて具体的な協議ができていない。
副町長	新幹線の駅は倶知安町にできる。全国的にみると新幹線の駅にどうアクセスしていくかの検討は、開通の5年ぐらい前から始めていることが多い。現時点で具体的な話は進んでいない。ニセコ町だけではなく、沿線含めて、倶知安駅をいかに活用していくかという話は今後することになる。いずれは自動運転が進んでいくようなことになるかもしれない。実現可能かは別として、昔、モノレールがあるといいという話が出たこともあった。今のJR路線は、鉄橋やトンネルなども含めて維持をしていくことはおそらく金銭的に無理という状態だ。沿線の町が共同出資し維持していくという議論もあったが、沿線自治体だけで維持できるような金額感ではない。国が何か支援したうえで、上に走るものだけはあるということはあるかもしれない。

■水道の問題	
町民	良質な賃貸住宅を増やしたいと考えている。進めていくにあたり新たな敷地を取得するといったときに、水道の供給が難しい。また、市街地にも関わらず浄化槽を設置してほしいと言われることもある。既存の限られた中でやっているから仕方ないが、市街地の人口を確保していくことも重要な観点であると思っている。集合住宅の開発にあたり、インフラ整備に関してではどのような考えを持っているか。肌感覚としては市街地の人口は減っていると思っている。感覚的なことだが、曾我などのほうが増えている。水道の供給量は、既存の住民がカウントされないで考えられているところがあるのではないかと。既存の水道の中で何とかできる方法について考えていることはあるか。
町長	市街地の人口増減については、まだ統計は出ていないが、同じ認識を持っている。今回の国勢調査でも市街地の住民が減少しているのではないかとこの通知が出てきているようだ。一方で郊外では人口が増えているところもある。市街地に古い住宅があって夏は住んでいないが、冬はシェアハウスや民泊に使用しているというケースが見受けられている。家は建っているが、空き家で使われていない、又は冬しか使わない等の場合も、既存の水道供給の考え方から行くと、供給しなければならないという意味においては、供給量は減っていないと思うので、非常に重く受け止めている。市街地の民泊を、国内で規制する取り組みや、空室税を大きな自治体（京都など）で先行的に始めるという話を聞いていて、何らかの形で抑圧、抑制していくような取り組みを検討しないといけないという認識を持っているが、議論にまで至っていない。簡易水道については、人口が5,000人を超えると必要数が増える。下水処理についても新設で整備する必要性を感じつつも既存の老朽化もあるので、総合的に判断をしていく必要があり、頭を悩ませている。

副町長	市街地の使っている水の量が減っているのではないかと、さまざまなものを建てるのに回せるのではないかとという話だ。実際には水の使用量は減ってはおらず、漏水が減少傾向である。近藤から持ってくる水源は、ある程度大きいので、これがきちんと整うまで少し時間がかかる。近藤の水源がくるまでの間、どのように供給するかということをはっきりさせたほうがいいと思っている。旧水源はいい水だが、雨が降ると濁るため、使用を辞めた。羊蹄山の国立公園の中にも水源があるということが見えてきた。調査する為の伐採にもすごく規制がある。その点クリアできればいい水源を持ってこれるという可能性はある。
-----	---

■ 綺羅乃湯の高齢者助成

町民	綺羅乃湯の高齢者の入浴料助成を増やしてほしい。維持管理されていて綺麗だ。幽泉閣は、10月から入館料が変わりお客さんが少なくなった。入館料を変えるのはいいかもしれないが、フロントで町民か否かを確認することが争いになるようなことを言っていた。
町長	外国人が増える冬期だけでも、町民あるいは後志エリアの住民とそうではない人といったように価格設定させていただき、収益を上げ、スタッフさんに還元したい。そうすることで優先的に町民が使いやすくなるとうい。また、ニセコ高校の新寮には風呂がない。現在の寮は、維持管理の問題でお風呂は男女共用なので、入れない人がいる、一人入ったら水を抜いてまた入れてという運用をしていると聞いた。彼らが使いやすくなるよう検討している。日帰りできる所では綺羅乃湯が一番安いので、お客さんが集中している。山のほうの日帰りは2500円くらいする。そのギャップには問題意識がある。

■ AI 北斎の取り組み

町民	新聞に AI 北斎の記事が載っていたが、その仕組みが分からない。町のお金を使ってやってもらうのか、どう関わっているのか。プレスリリースに町の名前入っていることはおかしいのではいか。
副町長	直接町に寄付は入ってこないはずだ。デジタルで作ったものにも著作権があり、コピーできないものにお金の価値が出てくるということだ。提案があり、取り組みをしている。
企画環境課 参事	商工観光課、観光協会が関わっている。3、4年前から慶應義塾大学と卒業生であるサムライアーキテツツという、その技術を提供し、風景を AI 北斎風にする技術の開発に取り組んでいる。その実証実験みたいなものを3年ぐらい前から商工観光課と一緒に取り組んできた。この技術を応用し、プロジェクトとして締結をしてやっている。

町長	しっかりリサーチして回答する。
商工観光 課長	<p>(追加回答) 1回目となる令和6年度は、ニセコ町内の各スポット全9か所の画像をAI北斎化し、町内を観光周遊していただくキャンペーンを実施し、延べ426名が参加。令和7度はより発展的で、地域の自然景観を守るための取り組みを啓蒙・応援していただくことを目的に、AI北斎化された画像のNFTを販売し、その販売額の半分が環境保全活動団体(ニセコ町:NIS-ECOプロジェクト)に寄付されるとともに、金額に応じた返礼品を入手できるというスキームになっている。寄付にあたっては、NFT販売サイトで購入された金額を事務局でとりまとめ、そのまま団体に直接寄付されるため、本プロジェクトにおいて、町にお金が入ってくることはなく、町の予算支出はない。町の関わり方については、本プロジェクトが地域の環境保全活動を支援するものであり、ニセコ町の大切な自然・景観を守ることに繋がっていくものであることから、その考え方に共感し、プロジェクトの寄付先を繋ぐとともに、観光客をはじめとしたみなさまに知っていただくための周知・広報で関与しており、プレスリリースの発出もその周知・広報活動の一環である。また、本事業はAI北斎を作成している会社と事業推進の中心となっている神奈川県等とニセコ町が協定を結び取り組んでいる。</p>